

第4回 美しい日本のむら景観コンテスト

農林水産大臣賞

文化部門

あらぎ島

しみずちょうしみず ありたがわちょう
和歌山県清水町清水(現有田川町)



舌状の奇異な形をした台地に水田を敷き詰めた「あらぎ島」は、それを見守るように佇(たたず)む家々とともに山村の温(ぬく)もりを感じさせる景観である。この河岸段丘は、高野山を源とする有田川の侵食がもたらしたもので、縄文時代以前に形成され、江戸時代初期に開田され稲作が行われてきた。

昔人から大切に手入れされてきた森林で育まれた豊かな水は、農業をはじめ、楮(こうぞ)、三叉(みつまた)を原料とした保田(やすだ)和紙の生産にも使われ、この地での人々の生活を支えている。この「あらぎ島」は、春から夏は青々とした緑、秋は黄金色、冬は純白の羽扇(うせん)を広げたような四季折々の美しい景観を創りだし、心の奥深く印象に残る。